No.	024	—	1001	事務事業名	放課後児童支援事業（学童クラブ）	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	保育幼稚園課	係名	子育て支援係	電話番号	089-964-4484	メールアドレス	hoikuyoutien@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	5 子育て支援の充実		主要施策	(1) 地域における子育て支援の充実				
	事業の対象	保護者が就労等の理由により、昼間家庭において監護することができない世帯の児童（小学1～6年生）				根拠法令	児童福祉法、子ども・子育て支援法						
	事業の目的	最終的	基準に沿った適正な運営に努めます。			今年度	放課後に適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全育成を図ります。						
	活動内容	①	児童の健康管理、安全確保及び情緒の安定を図る。			④	家庭や地域での遊びの環境づくりへの支援。						
		②	遊びを通じて、自主性、社会性及び創造性を培う。			⑤	児童の健全育成に関する活動。						
		③	児童の活動状況の把握及び家庭への連絡。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		登録児童数	各児童クラブの登録数の合計		人	目標	350	450	500	500			
			実績	423	509								
クラブ数		市内のクラブ数		ヶ所	目標	9	12	12	12				
				実績	9	12							
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	民生			費				
	直接事業費	平成 28 年度決算		平成 29 年度決算		平成 30 年度予算		備考					
		国・県支出金	47,426 千円		46,458 千円		46,466 千円		臨時職員(放課後児童支援員)の賃金については、直接事業費の中に含まれていません。				
		地方債	千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	11,412 千円		12,659 千円		13,048 千円						
		一般財源	5,900 千円		21,200 千円		38,059 千円						
	計(A)	64,738 千円		80,317 千円		97,573 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.400 人	2,386 千円	0.400 人	2,405 千円	0.400 人	2,452 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		67,124 千円		82,722 千円		100,025 千円						
一次評価者	子育て支援係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	共働き家庭やひとり親家庭の増加に伴い、児童が安心安全に過ごせる場を求める声はさらに高まると思われます。												
有効性	児童の健全育成のため、今後も必要不可欠な事業です。												
達成度	施設環境等について基準にそった運営を進め質的拡充を図る必要があります。												
効率性	年々増加する児童数に対して、小学校の余裕教室や近隣施設の有効利用を検討する余地があります。												
当面の課題	平成28年度から小学6年生まで受け入れ枠を拡充しました。そのため、急激に加入希望児童が増加したことから基準にそった施設整備が急務となっています。												
改画	児童受入のため、小学校の余裕教室などの有効利用や支援員の研修、確保について検討し量的拡大・質的拡充が必要です。												
二次評価者	保育幼稚園課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	待機児童を出さないで運営していますが、児童の受け入れについて、小学校の余裕教室などの有効利用を検討する段階に来ています。今後は、支援員の質を向上し、運営体制を強化する必要があります。												

No.	024	—	1002	事務事業名	地域子育て支援センター運営事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	保育幼稚園課	係名	子育て支援係	電話番号	089-964-4484	メールアドレス	hoikuyoutien@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	5 子育て支援の充実		主要施策	(1)地域における子育て支援の充実				
	事業の対象	子育て家庭（保護者、子）				根拠法令	児童福祉法、子ども・子育て支援法						
	事業の目的	最終的	子育て支援の充実を図り、市内のどこに住んでいても親子が参加したいと思う広場作りをしたり、気になる児の早期発見や早期支援を行い、子どもの健全な育成を図ったりすることを目的としています。				今年度	保護者のニーズに応じた支援の充実を図ります。					
	活動内容	①	育児不安等についての相談事業。				④	親子遊びの広場開催。					
		②	子育てサークル等の支援。				⑤	個別の支援・療育指導。					
		③	特別保育事業の支援。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		あおぞら等広場参加者		イベントの年間参加者延べ人数		人	目標 4,000	4,000	5,000	6,000			
育ちの支援教室利用者数		年間延べ利用人数		人	目標 400	400	400	400					
相談件数（面接・電話・訪問等）		年間相談件数		件	目標 200	200	300	300					
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	民生			費			
	直接事業費	平成 28 年度決算		平成 29 年度決算		平成 30 年度予算		備考					
		国・県支出金		5,202 千円		5,228 千円		5,228 千円					
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円					
		その他特定財源		千円		0 千円		0 千円					
		一般財源		6,503 千円		7,090 千円		9,289 千円					
	計(A)		11,705 千円		12,318 千円		14,517 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費		1.250 人	7,455 千円	1.250 人	7,515 千円	1.250 人	7,664 千円				
		臨時職員工数・経費		3.000 人	5,781 千円	3.000 人	5,922 千円	3.000 人	5,955 千円				
	全体事業費(A+B)		24,941 千円		25,755 千円		28,136 千円						
一次評価者	子育て支援係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	核家族化やひとり親家庭の増加に伴い、育児不安を抱える家庭のニーズは増えてきています。												
有効性	関係機関と連携し、市が率先して実施すべきと考えます。												
達成度	個々のニーズの多様性に対応するため、関係機関との連携強化や事業内容の見直しは必要と思われます。												
効率性	効率的な運営のため、これまでの事業の検証や、新たな事業展開も視野に入れた検討が必要と考えます。												
当面の課題	広場等への参加については、継続した参加が多く参加者も増加傾向ですが、参加のない親子への啓発の必要があります。支援が必要な子どもへの早期対応を行うため、各関係機関との連携を強化していく必要があります。												
改革計画	引き続き、実務者会への専門機関の参加の機会を設けるとともに、定期的に情報交換を実施し、支援が必要な子どものよりよい発達や、関係機関との効果的な連携につなげていきます。												
二次評価者	保育幼稚園課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	育児不安を抱える家庭や、発達に支援が必要な児童は年々増加しています。今後は、健康推進課、学校教育課、社会福祉課と更なる連携強化が重要になります。												

No.	024	—	1004	事務事業名	ファミリー・サポート・センターとうおん運営事業	細事務事業名		公的関与	4				
PLAN	課名	保育幼稚園課	係名	子育て支援係	電話番号	089-964-4484	メールアドレス	hoikuyoutien@ciyu.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	14年度～年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	5 子育て支援の充実		主要施策	(1)地域における子育て支援の充実				
	事業の対象	育児の手助けを必要とされる方（児童の年齢は0歳から12歳まで）、育児の支援を行いたい方				根拠法令	子ども・子育て支援法						
	事業の目的	最終的	子育て家庭に対して、安心して子育てできる環境を提供し、相互援助活動を行います。			今年度	広報等の周知による協力員の増員を積極的に行い、事業の充実を図ります。						
	活動内容	①	幼稚園、保育施設の保育時間前や終了後の預かり、送迎。			④	出産前後で子どもの世話ができない時の預かり。						
		②	子育て相談。			⑤	会員を対象とした研修会、交流会の実施。						
		③	病後の回復期にある子どもの世話。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		登録会員数	利用会員、協力会員、両方会員の合計		人	目標	270	300	300	300			
実績			306	314									
事業利用件数		相互援助活動数		件	目標	900	900	1,000	1,000				
		実績		868	1,010								
講習会・交流会参加人数		延べ人数		人	目標	250	250	250	250				
	実績		171	161									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	民生			費				
	直接事業費	平成 28 年度決算		平成 29 年度決算		平成 30 年度予算		備考					
		国・県支出金	1,839 千円		2,106 千円		2,106 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	千円		0 千円		0 千円						
		一般財源	2,149 千円		2,150 千円		2,362 千円						
	計(A)	3,988 千円		4,256 千円		4,468 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	2,982 千円	0.500 人	3,006 千円	0.500 人	3,066 千円					
		臨時職員工数・経費	1.000 人	1,927 千円	1.000 人	1,974 千円	1.000 人	1,985 千円					
	全体事業費(A+B)		8,897 千円		9,236 千円		9,519 千円						
一次評価者	子育て支援係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	核家族化やコミュニティの希薄化により、益々ニーズは高まり地域の相互援助活動組織として、子育てをサポートする重要な事業と考えます。												
有効性	共働きやひとり親の増加によりニーズは益々高まるものと考えます。												
達成度	年々変化する多様なニーズに柔軟に対応するため、協力会員の更なる確保は急務と考えます。												
効率性	経験豊富なアドバイザーが1人で効率よく業務を行っています。												
当面の課題	協力会員の高齢化・人材不足により、十分な対応が難しくなっています。事業の存続や増大する利用ニーズに対応するため、協力会員の確保が必要です。												
改 革 画	協力会員の確保につなげるため、助成制度の周知を図ると共に事業の啓発が必要です。												
二次評価者	保育幼稚園課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	協力会員の増員が一番の課題となっています。平成28年度から実施している協力会員への助成制度を広く周知し協力会員の増強を図る必要があります。												

No.	024	—	1010	事務事業名	児童相談事業			細事務事業名				公的関与	4
PLAN	課名	保育幼稚園課		係名	子育て支援係		電話番号	089-964-4484		メールアドレス	hoikuyoutien@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	非該当		事業期間	23年度～年度 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち			政策項目	5 子育て支援の充実			主要施策	(1) 地域における子育て支援の充実		
	事業の対象	東温市在住の18歳未満の児童とその保護者					根拠法令	児童福祉法、児童虐待防止法					
	事業の目的	最終的	子育て相談窓口が気軽に相談できる場となり、専門性を持った人員を配置し家庭相談体制の基盤を固め支援の充実を図ります。				今年度	気軽に相談しやすい環境をつくり子育ての負担を軽減を図り、切れ目のない支援につなげます。					
	活動内容	①	子育て相談受付、対応。				④	代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議の開催。					
		②	ケース管理。				⑤						
		③	要保護児童対策地域協議会の運営。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	最終目標		
		相談受付件数	窓口での対応延べ件数			件	目標	500	500	500	500		
			実績	577	499								
訪問件数		年間延べ訪問件数			件	目標	100	100	100	100			
						実績	119	88					
ケース会議開催件数		年間延べ開催件数			件	目標	20	20	20	20			
				実績		19	19						
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	民生			費			
	直接事業費			平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算	備考						
		国・県支出金		1,239千円	1,256千円	1,263千円							
		地方債		千円	0千円	0千円							
		その他特定財源		0千円	0千円	0千円							
		一般財源		1,242千円	1,195千円	1,278千円							
	計(A)		2,481千円	2,451千円	2,541千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.050人	298千円	0.050人	301千円	0.050人	307千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		2,779千円		2,752千円		2,848千円						
一次評価者	子育て支援係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	住民に身近な市が子ども家庭相談の第一義的な窓口となることは必要と考えます。												
有効性	問題の深刻化を防ぎ、早期発見・早期対応することは、市の責務と考えます。												
達成度	関係機関と連携を図りながら多面的に関わっていますが、窓口の存在を知らない方も多く、周知が必要です。												
効率性	他業務との連携により兼任スタッフを配置しています。												
当面の課題	専門性をもった職員の充実と、継続した支援を行うため研修を受けられるような基盤を作り、機関連携の要とする体制整備が必要です。												
改革計画	迅速かつ的確に対応できる職員の専門性の確保と関係機関との密な連携を図り、虐待に対する認識を高め早期発見につなげるための体制作りが重要と思われます。												
二次評価者	保育幼稚園課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	子育て相談が気軽にできる環境が構築されつつあります。今後は、迅速かつ的確に対応できる専門性をもった職員の確保と関連機関との連携が今まで以上に必要になっています。												

No.	024	—	1016	事務事業名	婚活支援事業			細事務事業名				公的関与	8
PLAN	課名	保育幼稚園課		係名	子育て支援係		電話番号	089-964-4484		メールアドレス	hoikuyoutien@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託		実施計画	該当	事業期間	27年度～年度			
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	5 子育て支援の充実			主要施策	(4) 婚活への支援			
	事業の対象	市内在住、在勤の20歳以上の独身男女					根拠法令						
	事業の目的	最終的	結婚について意識啓発を図り、出会いの場等で結婚する人が増加し、豊かな家族形成を目指します。				今年度	相談会等を開催し、独身者の不安解消を図ると共に男女の出会いの場として、新たにお見合いシステムを取り入れます。					
	活動内容	①	情報発信ツールにより地域の実情や婚活イベントを紹介します。				④	登録制によるお見合い相手探しの特設会場(愛結び)を本市に開設し、積極的な婚活者を支援します。					
		②	縁結びサポーターによる個別相談会を開催し、婚活者やその親をサポートします。				⑤						
		③	松山圏域において婚活イベントを開催し、男女の良き出会いの場を創出します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	最終目標		
		イベント参加人数	婚活イベントへの参加延べ人数			人	目標	40	40	40	80		
			実績	39	40								
イベントでのカップル数		婚活イベントでのカップル成立数			組	目標	5	5	5	10			
						実績	8	8					
特設会場利用者		特設会場でお見合い相手探しを行った人数			人	目標	—	18	72	100			
				実績		—	39						
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	民生			費			
	直接事業費			平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算	備考						
		国・県支出金		0千円	128千円	0千円							
		地方債		0千円	0千円	0千円							
		その他特定財源		0千円	0千円	0千円							
		一般財源		634千円	638千円	1,064千円							
	計(A)		634千円	766千円	1,064千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100人	596千円	0.100人	601千円	0.100人	613千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		1,230千円		1,367千円		1,677千円						
一次評価者	子育て支援係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	少子化対策の一環として市の総合戦略に位置付けられており、結婚を支援していくことは時代のニーズに合っています。												
有効性	結婚の意識付けや不安解消のための相談会を開催、男女の良き出会いを創出、ボランティアスタッフの支援等一貫したサポートを実施し、有効性を高めています。												
達成度	相談会の参加者からは前向きになれたとのご意見を頂いており、イベントにおいても目標を上回るカップルが誕生しています。												
効率性	相談会講師は県法人会連合会の専門スタッフであり、コスト面も抑えられています。婚活イベントは松山圏域の他市町との共同開催で実施しており、効率よく運営しています。												
当面の課題	出会いのイベント等において、男性に比べ女性の応募が少ない状況にあります。女性が興味を惹くイベントの工夫が必要であると共に、安心して相手探しができる仕組み作りが望まれます。												
改革計画	女性の関心度を高めるための聞き取りやアンケートを実施し、イベントの内容に反映させていきます。女性が安心して婚活できるお見合い事業(愛結び)の更なる充実を目指します。												
二次評価者	保育幼稚園課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	イベント等について、えひめ結婚支援センターと連携し、効果的な実施を行い、縁結びサポーターの育成も行いました。今後は、専用ブースの整備を行い新たな事業展開について検討する必要があります。												

No.	024	—	1017	事務事業名	延長保育事業			細事務事業名				公的関与	9	
PLAN	課名	保育幼稚園課		係名	子育て支援係		電話番号	089-964-4484		メールアドレス	hoikuyoutien@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託		実施計画	該当		事業期間	28年度～年度			
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち			政策項目	5 子育て支援の充実			主要施策	(1)地域における子育て支援の充実			
	事業の対象	市内認定こども園、小規模保育事業所に通う市内在住の園児					根拠法令							
	事業の目的	最終的	市内認定こども園、小規模保育事業所での延長保育サービス料金の減額を目指します。				今年度	市内で延長保育事業を実施している認定こども園、小規模保育事業所と委託契約を締結し、事業費の一部を補助します。						
	活動内容	①	市内の延長保育事業者に対して、委託契約を締結します。				④							
		②	事業者は国の実施要綱に基づき適正な延長保育サービスを提供します。				⑤							
		③	利用延べ回数、費用実績に応じて委託料を支払います。											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		施設数	延長保育事業実施施設数			箇所	目標	4	4	4	4			
			実績	4	4									
利用者数		延長保育サービス年間利用延べ人数			人	目標	1,200	1,200	1,200	1,800				
						実績	1,360	971						
						目標								
						実績								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	民生			費				
	直接事業費			平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金		410 千円	20 千円	3,158 千円								
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源		208 千円	10 千円	1,581 千円								
	計(A)		618 千円	30 千円	4,739 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.050 人	298 千円	0.050 人	301 千円	0.050 人	307 千円						
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		916 千円		331 千円		5,046 千円							
一次評価者	子育て支援係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
必要性	就労家庭の増加など社会情勢の変化により、やむを得ず子どもを長時間預ける保護者からのニーズが高い事業です。													
有効性	市と事業所が委託契約を締結することで、保護者のニーズが確保されています。													
達成度	事業費の一部を補助することで、実施する施設側の負担軽減にも繋がり、取り組み易い環境となっています。													
効率性	事業費の大半は預かる保育士の人件費となっており、保育の質を保つ上でもこれ以上の効率化は困難と言えます。													
当面の課題	本事業は国の基準に基づき実施されるものであり、多種多様な就労形態に応えられるようサービスの提供を今後も継続していく必要があります。													
改計画	市内のどの施設においても、同等のサービスが受けられるよう経営面での支援が必要です。													
二次評価者	保育幼稚園課長		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	近年、全国的に、延長保育のニーズは拡大しています。各事業所においては、事業費の一部補助により、保育の質が確保され、安心して子どもを預けられる体制整備が促進されています。													

No.	024	—	1019	事務事業名	子育て支援拡充事業	細事務事業名		公的関与	6				
PLAN	課名	保育幼稚園課	係名	子育て支援係	電話番号	089-964-4484	メールアドレス	hoikuyoutien@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	28年度～年度				
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	5 子育て支援の充実		主要施策	(1)地域における子育て支援の充実				
	事業の対象	子ども、子育て家庭				根拠法令							
	事業の目的	最終的	子どもが健やかに成長できる環境を整備します。			今年度	市内幼稚園、保育所、児童館の内容充実を図ります。						
	活動内容	①	幼稚園、保育所、認定こども園、小規模保育事業所へ巡回指導を実施します。			④							
		②	保育所の野外遊具設備を更新します。			⑤							
		③	児童館で館長を配置すると共に職員の正規化により、サービスの充実、組織強化を図ります。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		訪問回数	施設訪問による巡回指導延べ回数		回	目標	50	50	50	50			
			実績	44	50								
施設数		遊具等の拡充が行われた施設数		箇所	目標	5	5	5	5				
				実績	5	3							
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	民生			費				
	直接事業費			平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考						
		国・県支出金		0千円	0千円	0千円							
		地方債		0千円	0千円	0千円							
		その他特定財源		0千円	0千円	0千円							
		一般財源		13,334千円	14,491千円	14,850千円							
	計(A)		13,334千円	14,491千円	14,850千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100人	596千円	0.100人	601千円	0.100人	613千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		13,930千円		15,092千円		15,463千円						
一次評価者	子育て支援係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	本事業は市の総合戦略に掲げられており、子どもの健やかな成長を支援する上で必要な施策と言えます。												
有効性	未来を担う子どもの健やかな成長を図る上でも環境の整備や巡回による指導・助言は有効性が高いと思われます。												
達成度	巡回訪問では保育の質を保つための適切な指導ができました。野外遊具についても安全に適切な設置ができました。												
効率性	人件費の部分は効率化にはそぐいませんが、ハード面については配置のバランスと利用頻度等により優先順位を決めて、計画的な実施が可能です。												
当面の課題	拡充内容については定期的な見直しを行い、より効果の高いものを選定していく必要があります。												
改訂計画	拡充する内容は施設関係者や利用者からの要望を把握するため、アンケート等を実施します。												
二次評価者	保育幼稚園課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	市内教育・保育施設では、専門員による巡回指導事業により保育内容の充実が図られました。今後も定期的に巡回指導することによって保育内容の更なる充実を図ります。												

No.	024	—	1020	事務事業名	児童福祉施設等人材バンク活用事業	細事務事業名		公的関与	9				
PLAN	課名	保育幼稚園課	係名	子育て支援係	電話番号	089-964-4484	メールアドレス	hoikuyoutien@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	28年度～年度				
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	5 子育て支援の充実		主要施策	(1)地域における子育て支援の充実				
	事業の対象	子ども、親子				根拠法令							
	事業の目的	最終的	子どもの情操教育の充実、親の子育て知識・技能の取得を図ります。			今年度	幼稚園、保育所、児童館、放課後児童クラブにおいて講座を開催します。						
	活動内容	①	幼稚園、保育所、児童館、放課後児童クラブにおいて、人材バンク登録講師を招き講座を開催します。			④							
		②				⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		講座回数		児童福祉施設における年間延べ活用回数		回	目標	200	250	300	300		
実績							182	278					
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	民生		費					
	直接事業費			平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考						
		国・県支出金		0千円	0千円	0千円							
		地方債		0千円	0千円	0千円							
		その他特定財源		0千円	0千円	0千円							
		一般財源		316千円	467千円	660千円							
		計(A)		316千円	467千円	660千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.020人	119千円	0.020人	120千円				0.020人	123千円		
		臨時職員工数・経費	0.030人	58千円	0.030人	59千円	0.030人	60千円					
	全体事業費(A+B)		493千円		646千円		842千円						
一次評価者	子育て支援係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	本事業は市の総合戦略に掲げられており、子どもの健やかな成長を支援する上で必要な施策と言えます。												
有効性	身近なまちの先生を活用することで、活躍の場が広がり双方にとって有益な事業です。												
達成度	人材バンクに登録された人数も増加し、講座の種類も豊富となり目標を達成することができました。												
効率性	費用面では民間派遣会社に比べ、非常に安価なものとなっています。												
当面の課題	保育所に比べ幼稚園での活用回数が少ない、また、放課後児童クラブでの平日活用が少ない等差が生じているので、市内どの施設においても同等の活用ができるよう工夫が必要です。												
改訂計画	幼稚園での預かり保育事業での活用や、放課後児童クラブは放課後こども教室との共同開催などにより活用の機会を増やします。												
二次評価者	保育幼稚園課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	本事業は総合戦略にも位置付けられており、積極的な事業展開が求められています。特に児童館での外部人材の発掘と活用について積極的に取り組む必要があります。												

No.	024	—	1021	事務事業名	子ども用品リサイクル促進事業	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	保育幼稚園課	係名	子育て支援係	電話番号	089-964-4484	メールアドレス	hoikuyoutien@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託	実施計画	該当	事業期間	28年度～年度				
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	5 子育て支援の充実		主要施策	(1) 地域における子育て支援の充実				
	事業の対象	子育て家庭				根拠法令							
	事業の目的	最終的	子育て家庭に必要な子ども用品が無償又は低価格で取得できる循環型の支援体制を確立します。			今年度	市内児童館において、不用となった子ども用品の交換・販売を行います。						
	活動内容	①	いわがらこども館、さくらこども館、よしいのこども館において、子ども用品のフリーマーケットを開催します。			④							
		②	フリーマーケットには図書館で不用となった子ども向け絵本等を無料配布します。			⑤							
		③	フリーマーケット開催時は親子イベントや綿菓子配布などで事業を盛り上げます。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		参加人数		市内3館で開催したフリーマーケットに参加した人数		人	目標 600	700	800	1,000			
					実績 916	856							
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	民生			費				
	直接事業費		平成 28 年度決算	平成 29 年度決算	平成 30 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	150千円	150千円	150千円								
	計(A)	150千円	150千円	150千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.020人	119千円	0.020人	120千円	0.020人	123千円					
臨時職員工数・経費		0.030人	58千円	0.030人	59千円	0.030人	60千円						
全体事業費(A+B)		327千円	329千円	332千円									
一次評価者	子育て支援係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	本事業は市の総合戦略に掲げられており、循環型社会形成のためのリサイクル促進と子育て家庭の経済的負担の軽減の両面から必要な施策と言えます。												
有効性	家庭で眠っている子ども用品について、それを必要とする人との接点作りであり、有意義な事業となっています。また、保護者同士の交流の場としても好評を得ています。												
達成度	当初の想定人数を上回っており、関心の高さが伺えます。												
効率性	児童館の運営委託先である市社会福祉協議会に委託しており、最大限の効率化が可能となっています。												
当面の課題	多くの参加者がありますが、ゆっくり品物を見るには場所と時間の拡大が必要となります。												
改訂計画	市内には3館の児童館がありますので、それぞれに違う時間帯や曜日とすることで多くの方に参加できる機会を提供したいと考えています。												
二次評価者	保育幼稚園課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	目標を上回る参加者があり、本事業における市民の関心の高さを感じます。少ない予算で大きな成果があると思われまますので、今後も実施場所、回数などを検討し、市民のニーズに的確に応えていく必要があります。												

No.	024	—	1022	事務事業名	紙おむつ購入券配付事業	細事務事業名		公的関与	9				
PLAN	課名	保育幼稚園課	係名	子育て支援係	電話番号	089-964-4484	メールアドレス	hoikuyoutien@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	29年度～年度				
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	5 子育て支援の充実		主要施策	(6)妊娠・出産への支援				
	事業の対象	子育て世帯				根拠法令							
	事業の目的	最終的	経済的負担の軽減を図り、安心して生み育てることができる環境を整え、出生率の向上を目指します。			今年度	第二子以降出産の家庭に対して、紙おむつ購入券を確実に配付します。						
	活動内容	①	第二子以降の出産等の家庭に対して、50,000円分の紙おむつ購入券(愛顔っ子応援券)を交付します。			④							
		②	該当者を把握し、未交付者に対しては別途案内文を送付します。			⑤							
		③	利用可能店舗等の紹介を行います。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	最終目標			
		交付率	該当の家庭に対して交付した率		%	目標	—	100	100	100			
				実績	—	100							
店舗数		応援券が使用できる市内登録店舗数		箇所	目標	—	10	11	15				
					実績	—	11						
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	民生			費				
	直接事業費	平成 28 年度決算		平成 29 年度決算		平成 30 年度予算		備考					
		国・県支出金	0 千円		1,170 千円		3,500 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源	0 千円		782 千円		3,725 千円						
	計(A)	0 千円		1,952 千円		7,225 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.050 人	301 千円	0.050 人	307 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.030 人	59 千円	0.030 人	60 千円					
	全体事業費(A+B)	0 千円		2,312 千円		7,591 千円							
一次評価者	子育て支援係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	合計特殊出生率の向上と地域経済の活性化の観点から県下全域で取り組んでおり、県内転居の場合は応援券の交換ができる仕組みであるため、県全域(一部除く)が必要となっています。												
有効性	県全域で同様のサービスが受けられるなど有効性は高いと言えます。しかし、効果については数年後の実績を見る必要があります。												
達成度	戸籍担当窓口と連携し、該当者に対して案内を行い、漏れが無いよう努めたことで確実に交付できました。												
効率性	効率性を追求する事業ではなく、効果に時間を要する現状の取組を継続します。												
当面の課題	確実な事業実施がなされていますが、他市町においては更なる追加サービスを講じており、本市においても特色のある支援を考える必要があります。												
改画	出産、子育てに対する支援策として補助金の活用も視野に入れながら、先進地事例等を参考にします。												
二次評価者	保育幼稚園課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	事業は順調で、子育て世帯の経済的負担を削減することができました。また、購入は市内事業所から購入するため、地域の活性化にも効果が期待されます。今後も事業を継続することで、出生率の向上も期待されます。												